

おねえちゃんはおくの生きるエネルギー

江渡 文弥歩

ほくのおねえちゃんは、しゃんのえがおが、とてもかわい
い。ほくはだいすき。

しゃんのおかたづけをしたとき、おねえちゃんが赤ちゃ
んのしゃんは、ほとんど、びょういんでないでいるしゃん
だった。

ほくは、ふしぎだった。お母さんに、こつそり、きいた。

「なんで、くーちゃん、ないでいるの？」

お母さんは、ふーっと、いきをした。

「おふるで、見たかな。むねのまん中に、ながいキズがある
よね。」

おねえちゃんは、生まれてすぐに、しんぞうに、ざつおんが
きこえた。まいしゅう、びょういんへかよつて、七か月のとき、
心ぞうのしゅじゅつをした。なんかいも入いんして、いまま
びょういんへ、かよつている。

だから、いまはいつもわらつたしゃんなんだ。

くーちゃんおねえちゃんは、いつもすごい。

テストは、百点がいつばい、まい年うんどうかいのリレーの
せんしゅ。ことしは、ダンスもはじめたんだ。スイミングは、
せんぶおよげる。

ほくは、はじめてすることが、ちよつとにがて。なわとびや

けい算、なんでも、おしえてくれる。

くーちゃんおねえちゃんど、おすもうしたり、いつしよに学
ぶから帰つたり、おふるに入つたり、まい日、ありがとう。

ケンカしたとき、むねをたたいてごめんね。ほくは、あの
ときお母さんにいつばいしかられて、お父さんといつばいお
はなししたんだ。もう二どと、むねをたたいたりしないよ。

ほく、くーちゃんおねえちゃんに、いいたいことがあるよ。

ダンスの日や、学校でつかれたとき、ソファーでねているの
を見ると、生きていかなーと、かおを見るんだ。ドキドキす
るよ。

いつばい、たくさんがんばるのは、すごいなーとおもうよ。

ほくは、くーちゃんおねえちゃんが、おいしーさんになるの
をかなえると思つているよ。そのときは、くーちゃんおねえ
ちゃんの大好きな、メロンアイスをたべようね。

ほくも、いつばい生きて、楽しく生きるよ。

ほくの生きるエネルギーは、くーちゃんおねえちゃんだよ。
いつも、エネルギーを、ありがとう。

あとね、いつも、ありがとうを言つてくれて、ありがとう。